

子宮内掻把術(流産の治療)を受けられる

(手術当日入院用)

様へ(入院診療計画書)

病名等は、現時点で予測されるものであり、今後検査などを進めていくにしたがって
変わり得るものです。ご不明な点は遠慮なくスタッフへお尋ねください。
入院期間については現時点で予測されるものです。入院の際は、この用紙を持参してください。
入院当日は午前8時30分までに受付①で入院受付をし、7階デイルームでお待ちください。

主治医
患者氏名
受け持ち看護師
家族氏名
(続柄)

経過	入院～手術まで		手術後1日目退院まで
	手術前	手術後	
達成目標	手術に対し、心配なことや不明な点を、主治医や看護師に伝えられること		出血が少なく、下腹部の痛みが落ち着くこと。
治療 処置	- 薬を飲んでいる方は、他院の薬もすべて持参してください。その際、お薬手帳があれば一緒にお持ちください。 - 各種書類（同意書等）をお預かりします。 - リストバンドを装着します。 - 子宮口を広げるための処置を医師が行います。処置後、膣の中より異物が出た時や、おなかの痛みが強くなったときは、ナースコールでお知らせください。 - 化粧、マニキュア、コンタクトレンズ、金属類ははずしてください。 - 髪の毛の長い方はゴムで左右にまとめてください。 - 午前10時頃に点滴を行います。 - 手術予定時刻は（ ）です。	- 点滴は、手術後2時間行います。 - 処方された薬（子宮の戻りを良くする薬、感染を予防する薬）は夕食後より飲んでください。 - おなかの痛み、吐き気などありましたらナースコールでお知らせください。 	医師の退院診察があります。（医師の都合により少しお待ちいただくことがあります）
検査	- 身長、体重をはかります。 - 必要に応じて血液検査を行います。		
食事	- 当日は手術前まで何も食べられません。 - 午前9時以降は水分も飲めません。 	- 手術から2時間経ちましたら飲食できます。 - 夕食から召し上がれます。	
排泄	手術直前にトイレを済ませてください。	トイレに行きたくなりましたら、ナースコールでお知らせください。	
安静度	- 子宮口を広げる処置の後は、病棟内で安静にお過ごしください。 - 手術室へは車椅子で移動します。	- 手術後、手術室内でベットに移動し病室へ戻ります。 - 手術後2時間はベットで横になり安静にお過ごし下さい。最初に歩く時は安全のために看護師が付き添います。	
清潔		退院当日よりシャワーを浴びることができます。1週間後に入浴できます。	
説明	- 医師から治療・手術方法について説明があります。 - 手術の準備について看護師から説明があります。 - 退院後の生活について看護師から説明があります。 - 手術中、付き添いの方は必ず病棟で待機してください。		- 医師から退院後の生活について説明があります。 - 入院費用は、約3万～5万円 - この金額は、治療内容や使用薬剤によって変更になることがあります。 - 次回外来受診日は産婦人科1診 (月 日 時 分)
その他	持参品 □診察券 □入院申込書 □身元引受書・連帯保証書 □アレルギー調査票 □生理用ナプキン2～3枚 □必要な方は眼鏡ケース、コンタクトケース □飲んでいる薬のある方は、薬とその薬の説明書 □髪の毛の長い方は、髪をまとめるゴム2本 □入院費	- 退院後の生活について *退院後は普段の日常生活に戻れます。次回の受診まで運動などの活動は避けて下さい。 *出血は1週間ほどで止まります。出血が止まるまで性生活は中止して下さい。 *次回の外来予約日まで以下の症状がありましたら、平日の8:00～17:00は産婦人科外来に、その他の時間帯や休日は救急外来に連絡してから受診してください。 ・生理時の量以上の出血がある時・さし込む様な下腹痛がある時 ・38℃以上の熱がある時・おりものが多くにおいがある時 *次回の生理は約4～6週間後にあります。次回の妊娠は子宮の回復のため1回の生理が終わってからになります。続けて2回流産を経験された方で、今後妊娠を希望される方は、次回受診時に産科医にご相談ください。 	